

10月の星空まっぷ

【10月中旬、午後8時頃に見える星空】

満天の星空を見上げた時、誰もが大きな感動に包まれるよね。そんな星空に出会えることができれば良いなっと思って思うんだ。そんな期待を込めて、さあ、秋の澄んだ星空を見に行こう！

うん、ホミリーもそう思う。星空って、見上げていると、何だか心が落ち着いてくるって感じるんだ。
秋の星空に広がる

神話の世界!!

ほぼ天頂近く、「秋の四辺形」と呼ばれる 四角形の星の並びを見つけてみましょう。星空を駆ける天馬「ペガスス(座)」のお腹に並ぶ星たちです。ここから秋の星座探しが始まります。

秋の星空は、ギリシャ神話の一つ「古代エチオピア王家の物語」の登場人物たちが活躍する神話の世界が広がっています。「秋の四辺形」の北東の星から時計回りにアンドロメダ座、カシオペア座、ケフェウス座(この3星座が王家ファミリー)、そしてカシオペア座の東側にはペルセウス座。もう一つ忘れてならないのがくじら座(悪役の化けくじら)で、南東の空に不気味に潜んでいます。この化けくじら(クジラ座)の「いけにえ」にされたアンドロメダ姫を、あわやの危機から救出するヒーローがペルセウス王子です。その後、神話は、ペルセウス王子とアンドロメダ姫がめでたく結ばれるというめでたしめでたしのハッピーエンドへと進みます……。

★ 星座は今から5000年程前、メソポタミア(現在のイラク辺り)で生まれ、やがて古代ギリシャに伝わり、ギリシャ神話とむすびついて現在に伝えられています。そして、ほぼ100年前、国際的に88個に整理され、どの国でも同じ名称で呼ばれています。

北

ぼく「ほし坊」



北斗七星

おおぐま座

北極星

わたし「ホミリー」

カペラ

アルデバラン

ペルセウス座

くじら座

カシオペア座

アンドロメダ座

秋の四辺形

ペガスス座

こぐま座

クワダス座

おひつじ座

うお座

やぎ座

みなみのうお座

ベガ

デネブ

アルタイル

夏の三角形

天の川

黄道

オリオン座流星群

を見よう!

南

南

南

黄道

天空の星座のあいだを移動する太陽の見かけ上の通り道

● 1等星以上 ● 3等星
● 2等星 ● 4等星以下

〔星空まっぷの見方〕

南の星空を見上げる時は「南」を下に、北を見る時はまっぶをさかさまにして「北」を、同様に東の空は「東」、西の空は「西」を下にして見上げてね!

2025.10

星爺(ほしじい)

今年の「中秋の名月」は

10月6日(月)!!

おやっと思いませんか? 例年は9月頃のイメージですが、今年は10月初旬、チョッと遅い日になっていきます。中秋の名月は旧暦の8月15日。毎年現在の新暦に合わせて設定されますが、旧暦の作り(暦法)と新暦との関係で毎年「中秋の名月」の設定日が変わり、特に今年は10月にずれ込むと言う状況になっています。チョッとややこしいですが、何はとあれ、澄んだ秋の夜空に昇る丸い名月を、じっくり楽しみましょう。
★ 旧暦の秋は7月～9月に当たり、その真中の8月15日に見える月が「中秋の名月」と呼ばれています。秋の収穫を感謝する日本の伝統行事の一つですね。そのお楽しみが月見団子。そのお団子を食べながら秋の夜長を楽しみましょう!

オリオン座流星群

を見よう!

10月21日(火)午後9時頃、オリオン座流星群が極大を迎えます。1時間に15～20個程度の流れ星が流れると予想されており、オリオン座が東の空に昇る午後11時頃から22日午前3時頃までが見頃。当日は新月、月明かりの影響はまったく無く、最高の観測日和です。この流星群の母天体は、かの有名なハレー彗星、75年毎に地球軌道の近くにやってきます。秋の夜長、じっくり星空を見上げて流れ星を楽しみましょう!